

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17107005	神経系成立の基盤としてのSOX因子群の制御と相互作用	近藤 寿人 (大阪大学・大学院生命機能研究科・教授)	A+
<p>すでに Sox2 遺伝子の各エンハンサー解析や各エンハンサーのノックアウトマウスが作成され、初期胚における Sox2 遺伝子の発現制御や神経系原基における Sox 因子の役割の解明がなされている。当初の目的はすでに達成されたと言ってもよい。これらの結果をうけ、従来の「胚発生の過程で外、中、内胚葉ができ、外胚葉が誘導を受けて神経原基が成立する」というモデルにとって代わるモデル「epiblast は Tbox 因子と Sox2 の相互作用によって、神経系と中胚葉のいずれかの系列の組織に分化するかが決まる」を提唱している。</p> <p>これらの成果は発生生物学の教科書を書き換えるに値する画期的なものである。さらなる詳細な解析により、このモデルが確固たるものになることが多いに期待できる。</p>			